



令和3年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ
長野高等学校 学校長だより
(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和3年
No 5
6月18日(金)

具体的な行動・提言によって社会に参画し、市民社会の一員として行動する。

本校は文部科学省から平成26年度「SGH※1」さらに令和元年から「NGP※2」の教育改革推進事業の指定を受けています。平成26年にSGH指定を受けたのは全国で56校、その指定事業が5年間で終了したほぼ1年後、各校の事業が5段階で評価され、文科省のHPに記載されています。

- 「事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。」(7校)
- 「事業計画通りの成果をあげており、事業目的は実現された。」(28校)
- 「事業計画をやや下回っているが、事業目的はある程度実現された。」(3校)
- 「事業計画を下回っており、事業目的はあまり実現されていない。」(18校)
- 「事業計画を下回っており、事業目的はほとんど実現されていない。」(0校)

長野高校は
上から2番
目の評価で
した。

※1 SGH……「スーパー・グローバル・ハイスクール」

※2 NGP……「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)」の校内の名称

上記のSGH当初指定の56校には全国的に知られている進学校が多数入っており、最上位の評価を受けた7校は国立大学付属校、私立中高一貫校、中等教育学校などですから、**上から2番目の評価は非常に誇れるものです。**(文部科学省のHPで、どんな学校が指定校だったか見てみてください。)

さて、SGHの目的は「……、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け……」でしたが、NGPはSGHの基盤の上にさらに「……グローバルな学びの実践、地域課題の解決へ向けた提言……」というように、表題に掲げたように**具体的な行動や実践へと一歩踏み込んだ学びを期待**するものです。実際、文科省の指定事業も7年が経過して本校でも地域社会に生きる大人との協働の活動を実践する人達が現れています。例えば「ユースリーチ」(長野県NPOセンターが発足させたプロジェクト)に参加する人達などです。

5月31日(月)～6月4日(金)本校昇降口にて、3年でNGPを選択した**池田もも・小林奈々**さんが「**フードドライブ**」(家庭で余った食料品を学校や職場に集約して、フードバンク等に寄付する活動)を実践しました。

『将来、大人になって社会を担うということは課題を解決していく事だと思うので、NGPの活動は、その体験や練習になっていると思います。今回、活動している間はワクワクして、何か自分が役に立っているという実感がありました。(池田さん)』『ボランティアだけでなく、何か機会があればやってみたく思っていた時に、フードバンク信州を見つけて、この活動を知りました。課題の解決に向けての実践の一部を体験して、道筋が見えた気がします。(小林さん)』



(左) 小林さん、池田さん (右) 活動の様子

SGH・NGPともに「課題探究」「探究」という教育活動に焦点を当てた教育改革でもあります。探究活動等により、生徒の皆さんが、より深い学びを得て、そのことが自身の「キャリア形成」「進路意識」「学びのモチベーション」「自己有用感」「自己肯定感」等々の向上に繋がることも、この事業や活動の意義の一つです。価値観が多様化し、複雑化した現代社会において「体験」や「経験」は大きな財産になることは間違いないでしょう。(裏に続く……)

クラブ活動春の大会、春季クラスマッチは無事実施。北信越・全国へ！

今年度は高体連や高文連の春の大会が実施されました。とにかくまずは、本校生徒の皆さんが予定通り出場することができて本当に良かったです。さらに県大会等でも上位を占め、北信越大会や全国大会に出場するクラブもあり、祝意の表明と応援の意味を込めて昇降口には4本の懸垂幕を掲げてあります。全国大会は囲碁・将棋班（個人）、かるた班（団体）、北信越大会は剣道班（個人）、羽球班（女子団体）がそれぞれ出場します。おめでとうございます。さらなる活躍を祈念しています。

また、6月8日（火）の春季クラスマッチは感染対策を施しながら、久々に（3年振り）に全種目実施することができました。昨年は中止、一昨年は雨で室内種目のみでした。また、選手宣誓では羽球班（男子）がしっかりとしたネタを準備・披露してくれました（笑）。体育委員や実施に向けて担当した生徒の皆さん、先生方、また参加した全員の皆さん、お疲れ様でした。



剣道・バドミントン・囲碁将棋・かるた



1年某クラスTシャツ「寝められて伸びるタイプです」

感染警戒レベル長野圏域「4」→「3」に伴い、清掃の時間を元に戻しました。

長野県の感染状況の変化に伴って、厳しく引き上げていた本校の対応を若干修正し、清掃の時間を14日（月）から放課後に戻しました。昼食時の保健委員会による放送による注意喚起と昼食後の机等の消毒は継続しますので、各自用意した「除菌ティッシュ」等で自分が食事をした机やその周辺を消毒してください。（ポケットティッシュに消毒用アルコールをつけての使用でも良いです。）

また、クラブ活動における感染については、引き続き注意を継続してもらいます。信州大学感染制御室金井信一郎先生による研修会がオンラインで行われました。その資料からの引用です。

- 運動時の注意
- ・人との接触回数の増加
 - ・大きな声を出す行為（応援、合図など）の増加
 - ・息切れ による呼吸回数と飛沫の増加

- 【対策】
- ①運動前に必ず体調チェックを行い、体調の悪い生徒は参加しない
 - ②運動前後 に正しく手洗いを行い、運動後にボールや器具をアルコールで消毒する
 - ③室内は換気ができていることが絶対条件

○感染は運動で起きているのではない。控室などの閉鎖空間で起きているんだ！

- 具体的には
- ・試合前の長時間のミーティング
 - ・試合後の更衣室での談笑
 - ・試合後の食事

- 【対策】
- ①更衣は順番を決めて少人数で行う。
 - ②更衣場所を増やすなどして物理的な密集状態が起これにくくする。
 - ③更衣室では会話をせずに速やかに退室する。
 - ④ミーティングなどは換気のよい部屋で短時間で終わらせ、必要以上に滞在しない。

（生徒の皆さんは、この学校長だよりを読んだあと、保護者の方に渡してください）